

引継ぎ用サポートカード 【記入例】

記入者 ()

氏名	出身中学校
基本的生活習慣（身辺自立、食事など）について	
<ul style="list-style-type: none"> トイレ小便是一人でできるが、大便時は拭き取りの支援が必要。 食事はスプーンとフォークを使って食べることができる。 	
主なコミュニケーションの手段	
<ul style="list-style-type: none"> 不明瞭ながら言葉でのやり取りができる。 	
好きな（興味・関心のある）こと、得意なこと	
<ul style="list-style-type: none"> 絵を描くこと、YouTubeを見ることが好き。 電車や乗り物の絵を描くことが得意。 	
「嫌（NO）」の表現	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 泣いている声や怒っている声で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> イヤーマフを着けるようにする。
嫌悪刺激	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 表情が暗くなり、固まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様子を見守る。
危険認知について	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 気になる物を見つけると周囲が見えなくなり、走り出すことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に校外に出るときは、教師と一緒に歩くように飛び出しを防ぐ。
「こだわり」について	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 好きな電車の本を持ち歩いているが、手放せなくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> タイムタイマーなどで「終わり」を示すと受け入れることができる。
気になる行動について	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 清潔を保つことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き支援や身の回りを整える支援が必要である。
不適応な行動（パニック含む）について	
①状態	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 苦手な音や声が続くと自分の頭をたたく。 	<ul style="list-style-type: none"> どうして注意されているのか説明し、安心させる。 気になるようであれば、イヤーマフを着けるよう促す。 イヤーマフを着けても不安なときは、場を変える。
②行動を誘発すると考えられる事柄	その対応
<ul style="list-style-type: none"> 周りの人が注意している。 	
他者とのかかわり・集団参加	
<ul style="list-style-type: none"> 学年集会程度の集団であれば最後まで参加することができる。 突然大きな音が出る（楽器など）集会などは、事前に伝えておくと参加できる。 	
取り組んできた課題（作業等含）	
<ul style="list-style-type: none"> 言葉が不明瞭なため、口の動きを意識し、正しい発音で読む練習を繰り返し行った。 	
その他の事項	
<ul style="list-style-type: none"> 家庭環境 <p>連絡帳はいつも未記入で、提出物が遅れることも多い。学校との連絡がなかなか取れない。 相談事業所とはつながっていない。</p>	

記入事項がなければ、「特になし」と記入する。